

平成27年度部長マニフェスト取組結果

部(局)名	まち産業活性部
部(局)長名	中江 理晶

【達成度について】
 A：達成（設定した目標を達成することができた。）
 B：一部達成（設定した目標の一部のみ達成することができた。）
 C：未達成（目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。）

重点課題 1	地域経済の循環と活性化
--------	-------------

全体の達成度
B
一部達成

目指すべき方向	創業者に対する支援、地域経済の循環と活性化に資する企業誘致施策の取組み、既存中小企業の成長・発展の支援等を推し進めることによって、市民の雇用機会の拡大と地域経済の活性化を図ります。
---------	--

活動目標	具体的な取組実績
「新商工振興ビジョン」の後継となる新たな商工振興ビジョンの策定に取り組みます。	吹田市商工業振興対策協議会を4回、吹田市商工振興ビジョン策定専門部会を5回開催し、現行ビジョンと施策・事業の検証を行ったうえで、新たなビジョンにおける基本理念、基本方針、各施策を推進するためのアクションプランなどの協議を行い様々な意見等を反映しました。また、パブリックコメントを実施して65件の御意見をいただきました。
吹田市、吹田商工会議所、日本政策金融公庫吹田支店の三者で構築した「すいた創業支援ネットワーク」の連携強化を推し進め、創業支援の充実を図ります。また、民間の創業支援機関や大学等と連携を図り、企業動向の把握に努めます。	創業支援事業の充実化を図るため、「すいた創業支援ネットワーク」の三者で定例的に協議の場を設けて意見交換、情報提供、支援策について協議を行いました。 創業塾を4回シリーズで開催し16名、女性創業塾を7回シリーズで開催し47名の受講者がありました。また、吹田商工会議所が申請した「創業支援事業者補助金」の交付決定を昨年度に引き続き受けました。 創業塾及び女性創業塾受講者などに対して、市や国、金融機関等の創業支援施策についての情報提供をメルマガ配信等で行いました。 本市主催の起業家交流会において、「すいた創業支援ネットワーク」及び本市の創業支援施策を説明するとともに、商工会議所内のすいた経営革新支援センター（サビック）や日本政策金融公庫吹田支店への創業相談の周知を図りました。
企業誘致を促進するため、本市産業の特徴及び立地特性を活かした、より効果的なインセンティブとなる制度の検討に取り組みます。また、吹田商工会議所、金融機関、民間事業者等と連携を図り、企業動向の把握に努めます。	企業誘致施策の見直しを検討するため、企業訪問による事業者からの意見や要望、国の企業誘致支援機関等からの情報及び意見集約、不動産事業者から本市の土地、建物物件の情報や企業立地及びテナントビル等の状況、他市への視察による企業誘致策の展開状況等、様々な角度からの情報収集に努め、平成28年度見直しに向けた施策案の検討に取り組みました。
企業訪問等により事業者のニーズを的確に把握し、中小企業を支援する施策の更なる充実に取り組みます。	企業訪問については、2月末現在で延べ233社（内新規訪問69社）を訪問し、企業の実態や課題、施策ニーズの把握に努めました。製造業、卸売業の特定業種に偏らない訪問にも心がけ、IT・サービス・建設関連・不動産などの企業73社の訪問も行いました。
商工会議所と連携を図りながら、引き続き、融資等に係る総合相談窓口の構築を目指します。	融資等に係る総合相談窓口の構築を目指し、吹田市小企業者事業資金融資制度等の委託について、商工会議所との協議を行いました。
JOBナビすいたを拠点として、生活困窮者支援センターとも連携しながら、就職困難者をはじめとする求職者に対し、きめ細かな就労支援を行い、雇用の促進を図ります。	JOBナビすいたをはじめとする地域就労支援事業においては、これまでの経験を活かし、就職相談と職業紹介の連携による就職支援を行うと共に生活困窮者自立支援センターと連携し、就労困難者をはじめとする求職者の自立に向けた支援に努めてきました。
市内の大学生を対象とした「吹田合同説明会」等を開催することにより、大学生が魅力ある市内中小企業の情報を入手しやすくするように努めます。	本市が連携関係を築く他団体との協働により、昨年に引き続き来春卒業予定の学生と市内の中小企業がいち早く接触する機会となる産学金官連携による「吹田合同企業説明会」を開催し、会場となる大学以外の学生の参加者が増加するなど、市内での浸透が見られる開催状況となりました。また、就職支援施策の拡充に向け、北摂各市との協議の場を設け、連携した取り組みの検討を行いました。

平成27年度部長マニフェスト取組結果

達成目標		達成状況	達成度
産業振興条例に掲げられている目的及び基本理念に基づき、本市における産業の特性や社会経済動向に対応した新たなビジョンを策定します。	→	平成28年度（2016年度）からの10年間を見据えた「吹田市商工振興ビジョン2025」を策定しました。	A 達成
「すいた創業支援ネットワーク」の各機関の強みを活かした取組の強化、及び民間の創業支援機関等と連携による創業者の掘り起しにより、その創出に努めます。また、創業前後の支援充実化に努め、事業活動の安定化を支援します。	→	「すいた創業支援ネットワーク」を確立したことにより、創業塾及び女性創業塾受講者をはじめ、創業希望者に対する支援強化が図れました。具体的には、商工会議所内のすいた経営革新支援センター（サビック）において創業に向けた事業計画、資金計画等の専門的かつ的確なアドバイスを受ける機会が確立されたことにより、創業融資を受ける金融機関への円滑な連携につながり、確実な創業へと導けるスキームが構築できました。また、本市の開業資金利子補給金の活用についても、日本政策金融公庫吹田支店から融資者に対して、当該利子補給金の周知を行うことで、活用実績件数が増加しました。	A 達成
より効果的な企業誘致制度を策定することにより、本市への新規立地企業の誘致実現を目指します。	→	本市の企業が立地する特性や南吹田での新駅開業による地域の開発も視野に入れた、企業誘致施策の方向性の検討を行いました。	B 一部達成
中小企業の事業活動の安定化及び成長・発展を支援することにより、企業の市内定着の促進、地域経済の循環及び活性化を推進します。	→	企業訪問により、本市の中小企業支援施策の活用促進、特に活用実績のなかった企業立地促進奨励金の交付申請及び対象企業の発掘につながりました。また、経済団体等の定例会において、本市の支援施策、吹田市産業振興条例の説明などを行うことにより、本市の産業施策の方向性等の情報を周知することができました。	A 達成
商工会議所との連携による融資等に係る総合相談窓口を構築し、中小企業に対する経営支援を図ります。	→	吹田市小企業者事業資金融資制度の受付業務について、平成27年度から商工会議所に委託しました。今後、中小企業支援の効果について検証します。	B 一部達成
求職者の状況を踏まえた求人開拓と適切な職業紹介によって、マッチング率の向上を図ります。また、採用後の定着状況を確認するなど、継続した支援に努めます。	→	求人倍率が好調に推移する状況を反映して職業紹介の件数は減少しましたが、事業所から求められる人材が無理なく就業を継続できる観点で職業紹介を行ない、マッチング率は、概ね30%台の値を保っており、今後も更なる向上に努めます。	A 達成
市内大学生の地元企業への就職を促進することで、若い世代の地元定着を図ります。	→	市内大学生と市内の中小企業がいち早く接触する機会としての「吹田合同企業説明会」を継続開催し、市外の大学に在籍する学生の参加が増加するなど、浸透の度合いを深めました。今後も若い世代への就職支援施策の拡充に向けた取り組みを進めてまいります。	A 達成
総合評価・総括			
<p>「吹田市商工振興ビジョン2025」を策定し、吹田市産業振興条例に基づいた本市の商工振興施策の基本理念及び基本方針、そして各施策の具体的な事業の進め方や目標を定めたアクションプランを確立したことにより、今後、行政と市民、事業者及び経済団体等が連携してビジョンの実現に向けた取組を推進し、地域経済の循環及び活性化につながるよう取り組みます。</p> <p>商工会議所における融資等に係る総合相談窓口の構築を図るため、市制度融資の受付業務を委託しました。今後、中小企業支援の効果について検証するとともに、更なる連携に向けた検討を進めます。</p> <p>就労困難者をはじめとする求職者には生活困窮者自立支援センターと連携して就労支援サービスの提供に努めると共に市内学生の地元での就職と定着を促す方策として「吹田合同企業説明会」を継続して開催しました。今後も、魅力ある市内中小企業の情報を学生が入手できる機会の拡大を図ります。</p>			